

平成 25 年 度

八代市議会経済企業委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 3月定例会付託案件 …………… 1

平成 26 年 2 月 24 日 (月曜日)

経済企業委員会会議録

平成26年2月24日 月曜日

午前10時50分開議

午前11時12分開議（実時間22分）

○本日の会議に付した案件

1. 議案第1号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第10号（関係分）

○本日の会議に出席した者

委員長	増田一喜君
副委員長	野崎伸也君
委員	亀田英雄君
委員	笹本サエ子君
委員	田方芳信君
委員	前垣信三君
委員	松永純一君
委員	村上光則君

※欠席委員 君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

○説明員等委員（議）員外出席者

農林水産部長	橋口尚登君
農林水産部次長	中田正春君
農業政策課長	古田洋二君
農業政策課副主幹兼 農事研修センター所長	柿本光明君
農地整備課副主幹兼 農地整備係長	村井幸治君
水産林務課長	濱本親君

○記録担当書記

寺原哲也君

（午前10時50分 開会）

○委員長（増田一喜君） それでは、定足数に達しましたので、ただいまから経済企業委員会を開会いたします。

本日の委員会に付します案件は、さきに配付してあります付託表のとおりであります。

◎議案第1号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第10号（関係分）

○委員長（増田一喜君） それでは、予算議案の審査に入ります。

議案第1号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第10号中、当委員会関係分を議題とし、説明を求めます。

○農林水産部長（橋口尚登君） はい、委員長。

○委員長（増田一喜君） はい、橋口農林水産部長。

○農林水産部長（橋口尚登君） はい。みなさんおはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）

それでは、議案第1号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第10号に係ります農林水産部関係の予算につきまして、中田次長より御説明いたします。よろしく御審議お願いいたします。

○農林水産部次長（中田正春君） はい、委員長。

○委員長（増田一喜君） はい、中田農林水産部次長。

○農林水産部次長（中田正春君） 農林水産部の中田と申します。よろしく申し上げます。

それでは、議案第1号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第10号、農林水産部関係について御説明申し上げます。座らせて説明させていただきます。

○委員長（増田一喜君） はい、どうぞ。

○農林水産部次長（中田正春君） それでは、予算書の13ページをごらんください。

款5・農林水産業費、項1・農業費、目3・

農業振興費として、補正額2230万円をお願いするものです。

補正の理由は、説明欄の6次産業化ネットワーク活動交付金事業補助金2230万円で、国の第1次補正に伴い、活動交付金事業について補正するものです。本事業は、農山漁村の所得向上や雇用を拡大し、地域活性化の向上を図るため、地域の創意工夫を生かしながら、多様な事業者によるネットワークを構築して、新商品開発や販路開拓、農林水産物の加工・販売施設の整備を支援するものです。事業内容は、加工・保管設備設置用倉庫屋根等改修ということで880平米、保管施設——これは冷蔵庫ですが、の整備です。加工場内輸送機、2トンリフト1台を計画しております。なお、特定財源として全額県支出金を予定しています。

次に、目8・農地費として、補正額3億4500万円をお願いするものです。

まず、補正の主な理由は、説明欄の農業基盤整備促進事業として、補正額2億6050万円をお願いするものです。本事業は、農地、農業水利施設等の整備を地域の実情に応じて実施し、農業競争力の強化を図るものでございます。事業内容は、工事委託、八代平野北部土地改良区へ用水路工として6000メートル、八の字土地改良区へ250メートル。測量設計委託として、排水路4カ所で1290メートル。工事請負費、排水路工事5カ所で1520メートルを計画しております。今回、平成26年度実施予定である事業の定率助成分を前倒しして行い、事業の推進を図るものでございます。なお、特定財源として県支出金50%、残については市債100%を予定しています。

次に、農業水利施設保全合理化事業として、補正額5000万円をお願いするものです。本事業は、農業水利施設の補修・更新等の保全整備、水路のパイプライン化・ゲート自動化等の合理化整備を緊急実施することにより、生産効

率を高め、競争力のある攻めの農業を実現し、担い手へ農地集積を加速化するものです。今回、平成26年度実施予定であるネットフェンス改修工事を前倒しして行うことにより、事業の推進を図るものでございます。なお、特定財源として県支出金50%、残については市債100%を予定しています。

次に、県営土地改良事業負担金として、3450万円をお願いするものです。本事業は、県営で実施する土地改良事業の地元負担金で、国の定めるガイドラインに従い、市はその負担金を支出するものです。平成26年度実施予定の経営体育成基盤整備事業の昭和地区、野崎地区、鏡町塩浜地区について、前倒しして行うことにより、事業の推進を図るものでございます。なお、特定財源として市債100%を予定しています。

それでは、14ページごらんください。

項2・林業費、目4・林道新設改良費として、補正額1億502万円をお願いするものです。本事業は、道整備交付金事業として、五木・八代地域再生計画に基づき、林道の改良・舗装事業を実施するもので、今回、平成26年度実施予定事業について、前倒しして事業の推進を図るものでございます。事業内容については、改良事業として林道南川内線ほか1路線、舗装事業として林道岩奥南川内線ほか6路線を計画しています。なお、特定財源として県支出金は、改良事業幹線が100分の51、その他100分の31、舗装事業幹線が100分の51、その他100分の34、残については市債100%を予定しています。

次に、項3・水産業費、目2・水産業振興費として、補正額2750万円をお願いするものです。本事業は、大鞘漁港と植柳漁港の老朽化が進んでいることから、水産物供給基盤機能保全事業として、平成26年度に漁港施設の機能診断を実施し、診断に基づき機能保全計画書を

作成する計画でしたが、国の補正予算が確保できる見込みであるため、早急に漁港施設の機能診断を実施、計画的に施設の保全に努めるものでございます。なお、特定財源として県支出金2分の1を予定しています。

以上が今回の補正内容ですが、国の第1次補正に伴うものでありまして、全額繰り越しということで予定しております。

以上で農林水産部関係の予算説明を終わります。御審議方よろしくお願ひします。

○委員長（増田一喜君） それでは、以上の部分について質疑を行います。何かありませんか。

○委員（亀田英雄君） いいですか。

○委員長（増田一喜君） はい、亀田委員。

○委員（亀田英雄君） 今、最後のほうで、全額繰り越してというお話だったと思います。確認なんですけど、当初予算——26年度か、次の当初予算とこの分も足したのが実質的な当初予算だというような解釈の仕方で間違ってますかね。考え方としてですたい。全部繰り越すわけだから。わかりますかね。

○農林水産部長（橋口尚登君） はい、委員長。

○委員長（増田一喜君） はい、橋口部長。

○農林水産部長（橋口尚登君） はい。今回の補正についてはですね、26年度予算を前倒しということですので、26年度分の事業ということで考えていただいて結構かと思ひます。

○委員長（増田一喜君） わかりました、よかったです。

○委員（亀田英雄君） はい。

○委員長（増田一喜君） はい、亀田委員。

○委員（亀田英雄君） 合算した事業が来年度行われる予定だということですね、お聞きしたいと思ひます。

6次産業の部分についてちょっとお聞きしたいんですが、これは実際、何をやる会社なんですかね。

○農業政策課長（古田洋二君） はい。

○委員長（増田一喜君） 古田農業政策課長。

○農業政策課長（古田洋二君） はい。お答えします。

今回の補助事業につきましてはですね、農林水産事業者が、先ほど説明がありましたとおり、6次産業化に向け、新商品の開発、加工・販売等の施設整備、機械の導入と、これを支援する目的とした事業でありますけれども、今回の事業につきましては、市内の養蜂業者の方がですね、交配用のミツバチ、これらの安定供給、拡大を図るための働き蜂をですね、生産・加工、保管と、それと発送までですね、するための施設整備、機械の導入ということでございます。

以上です。

○委員長（増田一喜君） 亀田委員。

○委員（亀田英雄君） はい。事業費が4600万で、助成額が2200万か。これどんな割合になつとですか。よく50%補助とか、よくあるわけなんですけど、その辺の補助率はどうなってるんでしょう。

○委員長（増田一喜君） 古田課長。

○農業政策課長（古田洋二君） はい。2分の1がですね、補助。残りは事業者の負担ということになります。

以上です。

○委員長（増田一喜君） よろしいですか。

はい、亀田委員。

○委員（亀田英雄君） 2分の1が補助、4600万の半分は2300万ですね。（農業政策課長古田洋二君「はい」と呼ぶ）ああ……。

（「約だから」と呼ぶ者あり）まあいいです。

事業内容としまして、設備の更新の内容なんですけど、これについてもやっぱり前回同様、何かこう、税金の対象とならぬとか、その辺の考え方を教えてください。税の対象になるのかならないのか。いいですよ、2000万ももう税の対象にならぬとなら、また来るちゅう話だし。

○委員長（増田一喜君） 柿本農業政策課副主幹兼農事研修センター所長。

○農業政策課副主幹兼農事研修センター所長（柿本光明君） はい、お答えいたします。

2分の1補助を受けて整備します建屋の改修、あと冷蔵庫とかを設置するわけなんです、一一冷蔵庫とリフトを設置しますが、その辺は固定資産税とか、いろんな税の対象には十分なってくると思っております。

以上です。

○委員（亀田英雄君） いいですか。

○委員長（増田一喜君） はい、亀田委員。

○委員（亀田英雄君） 固定資産の税の対象にはなってくつとでしょうね。この補助金のことについての税の対象はどんななつとつとですかね。

○委員長（増田一喜君） 誰が答えられますか。

○農業政策課長（古田洋二君） はい。

○委員長（増田一喜君） はい、古田課長。

○農業政策課長（古田洋二君） はい。今、ちょっと担当のほうとも確認したいと思いますので、後ほどよろしいでしょうか。（委員亀田英雄君「後ほどでいいです、もうほんと。それで質問した件、変わるわけじゃなかですから、後ほどいいです。教えてください」と呼ぶ）はい、わかりました。

○委員長（増田一喜君） いいですね。じゃ、後ほどお知らせください。

ほかにありませんか。

○委員（村上光則君） はい。

○委員長（増田一喜君） 村上委員。

○委員（村上光則君） 農業基盤整備事業、これ地域はどっちですかね。

○農地整備課副主幹兼農地整備係長（村井幸治君） はい。

○委員長（増田一喜君） 村井農地整備課副主幹兼農地整備係長

○農地整備課副主幹兼農地整備係長（村井幸治

君） 農地整備課の村井です。よろしく申し上げます。

農業基盤整備事業の地域ですけども、まず市が行う事業ですけども、それにつきましては、鏡が2カ所、それとあと旧八代市のほうが、島田が1カ所、それと東片ですかね、東片のほうは1カ所、それとあと日奈久のほうは1カ所になります。

あと、土地改良区で行う事業の場合には、土地改良区全体の管内となりますので、地域は指定されておりませんが、その全体の農業用水です、その関係の補修とか更新の事業を行うこととなります。北部土地改良区については6000メートル、それとあと、八の字土地改良区については250メートル分の用水路の補修を行うことになっております。

以上です。

○委員長（増田一喜君） よろしいですか。

○委員（村上光則君） はい、わかりました。

○委員長（増田一喜君） ほかにありませんか。

○委員（前垣信三君） はい。

○委員長（増田一喜君） 前垣委員。

○委員（前垣信三君） はい。済みません。さっき亀田委員さんが質問された件ですが、この募集といたしますか、どうやってその決定をなさるのか、そのあたりの経過はわかりますか。

○農業政策課副主幹兼農事研修センター所長（柿本光明君） はい。

○委員長（増田一喜君） 柿本所長。

○農業政策課副主幹兼農事研修センター所長（柿本光明君） はい。今回の6次産業化ネットワーク交付金事業の中にはソフト事業とハード事業ございまして、今回ののがハード事業に当たります。ハード事業の要件としましては、6次産業化法の総合化計画を認定された事業者であるか、農商工連携事業の認定事業者であるかというような条件が入ってまいりまして、今回の対象者につきましては、農商工連携事業のほう

の認定事業者ということで、もう対象者絞られてるものですから、そこ宛てのですね、募集と、それに対しての要望ということで今回採択になっております。

ちなみに申し上げますと、農商工連携事業者で、市内で認定されてる事業者が1者と、6次産業化法で認定の事業者が市内関係で4者ございますので、合計5者の中から今回の事業が採択されるような形になっております。

以上です。

○委員長（増田一喜君） よろしいですか。

○委員（前垣信三君） はい、いいです。

○委員長（増田一喜君） ほかにありませんか。

○委員（松永純一君） はい。

○委員長（増田一喜君） はい、松永委員。

○委員（松永純一君） 道整備交付金の林道の改良・舗装ですが、26年度の前倒しというような説明だったんですけど、当然まだ事業として残ってるものについては、26年度当初予算にも計上してありますか。たとえば、1番上の林道改良、南川内線ですね、恐らく改良は100%じゃないと思いますので、そういうまだ改良が残ってる分については今回も前倒してやりますけども、26年度もやるというようなことになつたりしますか。

○委員長（増田一喜君） 濱本水産林務課長。

○水産林務課長（濱本 親君） はい。この大型補正で、前倒しでですね、繰り越しちゅうことになりますと、通常の前倒しの平成26年度で発注するより、早期な発注で現場に入れるというような利点関係もございます。そこで、年度間の工期関係を見ますと、平成26年度予定しております工期区間の延長を前倒して、早期発注をするちゅうような計画でございます。

以上です。

○委員（松永純一君） はい、委員長。

○委員長（増田一喜君） はい、松永委員。

○委員（松永純一君） ということは、もう2

6年度は今回の繰越事業で対応するのみというようにことですね。

○委員長（増田一喜君） はい、濱本課長。

○水産林務課長（濱本 親君） はい、そうでございます。

○委員長（増田一喜君） よろしいですか。

○委員（松永純一君） はい。

○委員長（増田一喜君） ほかにありませんか。

○委員（亀田英雄君） もう一ついいですか。

○委員長（増田一喜君） はい、亀田委員。

○委員（亀田英雄君） 最後の水産物供給基盤機能保全事業、植柳港、これどんなこと、——今度は測量設計なんですけど、目的はどんなことを描いとつなつとですか。

○水産林務課長（濱本 親君） はい。

○委員長（増田一喜君） はい、濱本課長。

○水産林務課長（濱本 親君） はい。この内容としましては、八代市が維持管理してます中の植柳漁港2カ所、植柳地区と金剛地区、それと大鞘漁港、それがこの要件に満たす漁港でございまして、現に作業内容といたしましては、職員の目視的な調査を行いますところでございますけど、専門の業者に入ってもらってですね、水中に埋もれてる部分とか、目視で調査がでない部分等を全て調査をいたしまして、今後の補修の計画書を作成するちゅうような段階まで行く調査でございます。

以上です。

○委員（亀田英雄君） はい。

○委員長（増田一喜君） 亀田委員。

○委員（亀田英雄君） 設計に2200万計上してあつてですね、その報告書は設計すつちゅう話ですか。どげん意味ですか。

○水産林務課長（濱本 親君） はい。

○委員長（増田一喜君） 濱本課長。

○水産林務課長（濱本 親君） はい。委託設計みたいな形ですね、報告書も作成してから適宜予算化ができるような形の内容まで調査す

る内容でございます。

以上です。(委員亀田英雄君「わかりました」と呼ぶ)

○委員長(増田一喜君) はい。ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(増田一喜君) ないようです。

以上で質疑を終了します。

意見がありましたら、お願いいたします。

○委員(亀田英雄君) 意見。はい。

○委員長(増田一喜君) はい、亀田委員。

○委員(亀田英雄君) 今回の、前倒しということですが、いつも何か繰り越し、繰り越しという格好で——繰り越しちゅうが、次年度にまた繰り越すというような格好でですたい、せっかく計上した事業費が消化できないということがありますので、その辺の対応もですね、よろしくお願ひしたいというふうに思います。次年度に繰り越しがなるだけしないようにということでの対応をよろしくお願ひしたいと思います。

○委員長(増田一喜君) はい。ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(増田一喜君) ないようですので、これより採決いたします。

議案第1号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第10号中、当委員会関係分について、原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者 挙手)

○委員長(増田一喜君) 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

以上で付託されました案件の審査は全部終了いたしました。

○委員長(増田一喜君) お諮りいたします。

委員会報告書及び委員長報告の作成については、委員長に御一任願ひたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(増田一喜君) 異議なしと認め、そのように決しました。

以上で本日の委員会の日程は全部終了いたしました。

これをもって経済企業委員会を散会いたします。

(午前11時12分 閉会)

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

平成26年2月24日

経済企業委員会

委員長